

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ 保護者等数(児童数):194 回収数:113 割合:58%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	9%	1%	0%	・もうちょっと広いと嬉しい ・園庭があればもっと良い	・定員20人と規模も大きいですが、基準より大幅に広い部屋になっています。また事業所内の個室なども活用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	81%	12%	0%	7%	・実際の人数は分からない ・足りないように感じることもある	・設置基準、加配報酬以上の職員数の配置は行っております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	86%	4%	0%	10%	・収納についてはもう少し工夫して欲しい ・換気をしていることもあり、寒い ・きれいで明るい	・扉の開閉部を含めて段差の無い作りになっていますが、一部マットを敷いており段差になっているので気を付けて支援しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	96%	3%	0%	1%	・食事の前後の手洗い、私用した玩具の消毒の徹底など行っている ・年間通じて寒い ・トイレの床が濡れていることがある	・毎日清掃の業者が入って床清掃など行っています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	94%	4%	0%	2%	・臨機応変に対応してくれている ・毎回丁寧に説明してもらっている ・保育園とも連携している	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	81%	5%	0%	14%	・発達検査に基づいた計画になっている ・具体的に設定されていると思う	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90%	5%	1%	4%	・好きなキャラクターを使うなど子どもの興味を引き出している ・計画の見直し、作成をもう少し細かい頻度でしてほしい。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	78%	13%	2%	7%	・いつも同じような事をやっていると感じることがある ・バリエーションを増やして頂きたい ・当日の利用児にも合わせ柔軟に行っている	法人内の児童発達支援事業所と定期的に連携会議を実施し、活動内容のバリエーションを増やしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	42%	9%	7%	42%	・個別でのマンツーマンの為分からない ・コロナ禍だが昨年度より工夫されていた	コロナ禍で近隣の保育園との交流も少なくなったが、コロナ禍の状況を見ながら増やしていければと思います。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	91%	5%	2%	2%	・請求書の内訳が分からない	・利用契約の際に利用料金などについても説明しております。ご不明な点がございましたらご連絡ください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	94%	3%	1%	3%	・ガイドラインは印象に残っていない ・子どもをよく見ていると感じる説明だった	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	47%	15%	11%	27%	・個別療育でフォローしてもらえている ・保護者へのアドバイスをもっと欲しい ・是非お願いしたい	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	85%	10%	1%	4%	・課題があると適宜相談して対応してくれる ・直接話をする機会がもっと欲しい ・個別支援の後に振り返りをしてくれている	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	78%	13%	5%	4%	・療育の後に困っていることがないか聞いてくれる ・是非もっとおねがいしたい	
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17%	14%	22%	47%	・他の保護者と接する機会がない ・父母の会が休止の為、横の繋がりが薄い ・親同士で話す時間はほぼ無い	アフターコロナとなる中で、保護者参加週間の実施方法や、保護者会の開催方法を見直し、保護者同士が交流しやすい環境作りをしていきます。	

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和5年2月28日

事業所名 中野区療育センターゆめなりあ 保護者等数(児童数):194 回収数:113 割合:58%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	67%	14%	0%	19%	・心配なことがあれば電話して聞いてもらっている ・もう少し早く対応してほしいと思うことがある	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	81%	13%	0%	6%	・忙しいと思うが、連絡帳のコメントがもう少し充実してほしい	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	58%	7%	1%	34%	・積極的に活用してほしい ・特に案内されたことがない	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	81%	5%	0%	13%	・連絡帳の入れ違いが起きることがある	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	60%	7%	1%	32%	・通院届など提出するものの説明が不十分	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	53%	3%	3%	42%	・個別のみで分からない	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	88%	6%	1%	5%	・ゆめなりあの日を子どもが楽しみにしている ・沢山褒めてもらい、達成感が得られていると思う	
	23	事業所の支援に満足しているか	85%	12%	1%	3%	・プログラムや支援計画に少し物足りなさを感じる ・子どもの成長が見られて満足している ・子どもに合っていると感じ満足している	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。